

# ストーカ式下水汚泥焼却発電システム

## ごみ焼却発電で培った焼却発電技術により 温室効果ガス削減に貢献します

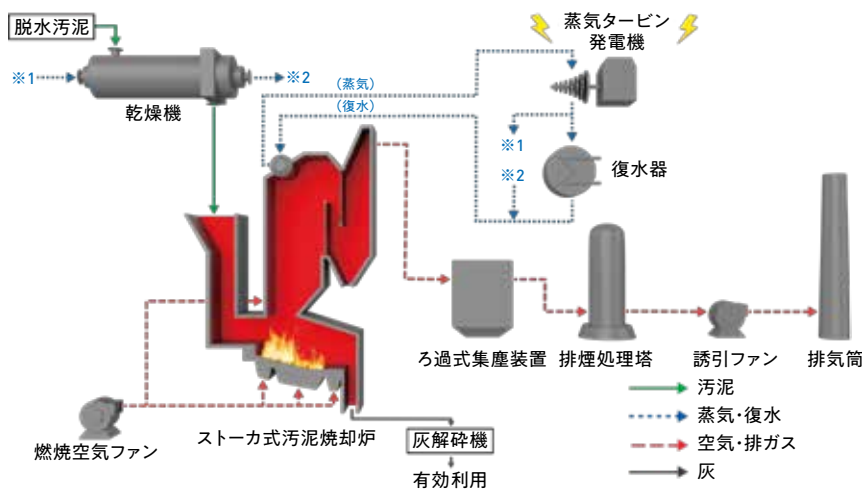
ストーカ式下水汚泥焼却発電システムは、ストーカ炉の特長である **高温燃焼・低消費電力** により、 $N_2O$ などの温室効果ガス排出量を削減可能なシステムです。  
また、焼却炉で発生する熱は廃熱ボイラで回収し、汚泥の乾燥に利用するほか、蒸気発電を行うことで **下水処理場で使用する電力量を削減可能** なシステムです。

温室効果ガス  
削減

廃熱の  
有効利用

補助燃料  
不要

### 「ストーカ式下水汚泥焼却発電システム」システムフロー



環境にやさしく

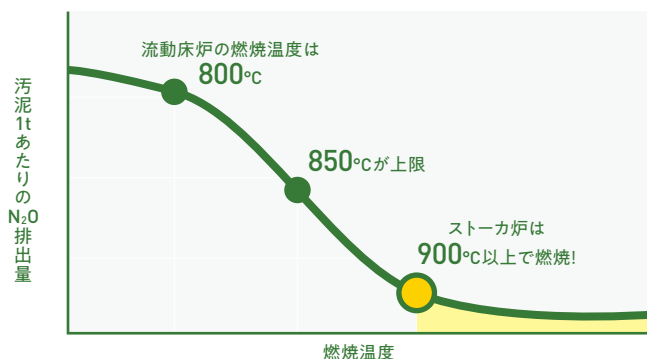
コストパフォーマンスも

## ストーカ式下水汚泥焼却発電システムの3つのメリット



### 温室効果ガス削減

ストーカ炉は流動床炉より **高温燃焼(900°C以上)が可能** なため、温室効果ガスである $N_2O$ を大幅に削減可能。



### 廃熱の有効利用

燃焼ガスの熱を廃熱ボイラで回収し、汚泥の乾燥に利用するほか、バイナリー発電よりも **発電効率の高い蒸気発電** を行うことで下水処理場で使用する電力量を削減可能。



### 補助燃料不要

**廃熱を利用した汚泥乾燥** を行うため、定常運転時に焼却炉での補助燃料不要。